

ナブテスコの歩み

統合前から受け継ぐ事業基盤を活かし、独自のモーションコントロール技術に磨きをかけてきました。

ナブテスコは、帝人製機とナブコの統合により2003年に誕生し、2023年に20周年を迎えました。設立以来、両社から受け継いだ事業基盤を活かし、お客さまの要望に応え続けることで、独自のモーションコントロール技術確立してきました。強みを持つハード・コンポーネント技術にAIやIoT等のソフト技術を組み合わせ、モーションコントロールのさらなる進化に取り組んでいます。



1986年

精密減速機が
産業用ロボットに
初採用

1980年代前半、帝人製機岐阜第2工場(現垂井工場)の主力製品は建設機械向け油圧走行ユニットでしたが、すでに市場は成熟しつつあり、新たな市場開拓が求められていました。そこで着目されたのが産業用ロボット市場でした。後発の当社が参入できる可能性は低いと思われていましたが、走行ユニットの開発で培った、高剛性でタフな減速機構の技術を

磨き、産業用ロボットの関節に使われる「精密減速機RV™」の開発に成功。その後も高い品質・技術力、生産能力でオセロの石をひっくり返すように業界地図を塗り替えました。ナブテスコの精密減速機は今日に至るまで、産業用ロボット市場の進化や拡大に貢献し続けています。



RV-Zシリーズのリーフレット

2003年

ナブテスコ株式会社
設立

航空機部品の製造を主要事業として誕生した帝人製機と、鉄道車両用エアブレーキのメーカーとして歩み続けてきたナブコ。両社はともに建設機械用の走行ユニットを主力製品としていました。しかし当時、油圧機器事業の主要顧客である建機業界は、公共投資抑制等による国内需要減少で、生き残りをかけた提携、外資への傘下入りが相次ぎました。このような中、両社はともに油圧制御技術を

ベースとしながら、両社の技術基盤を融合することで既存製品の競争力強化や新規事業の創出が可能と判断し、経営統合に至りました。

うごかす。とめる。
Nabtesco独自のモーション
コントロール技術
を確立

ナブテスコは、ニッチ市場において高いマーケットシェアを持つ製品群を有していますが、技術的な基盤は独自のモーションコントロール技術です。お客さまの要望に応え続けることで蓄積・進化させてきた切削加工技術、組立加工技術、流体制御技術などの基礎技術に加えて、表面処理・熱処理技術、CAE解析技術、積層造形技術をはじめとする要素技術の集積がモーションコントロール技

術の発展を支えてきました。さらに、電子制御技術やモデルベース開発、デジタルツインなど最先端の要素技術・開発手法をオープンイノベーションを通じて獲得しており、電子化、IoT化、AIの進化に対応し、予防保全を含めた製品・サービスの開発に役立てています。

生産面においても中長期的な需要増加に対応可能な生産能力を確保しており、高品質な製品を安定的かつ柔軟に供給できる革新的な生産技術の導入や高自動化による生産効率の向上に取り組んでいます。製品開発や生産技術の蓄積が競合他社への優位性の基礎となっています。

社会を支えるナブテスコ

ナブテスコは、「うごかす、とめる。」モーションコントロール技術で、
「安全・安心・快適」な暮らしのお手伝いをしています。

私たちは、「ものづくり・まちづくり」「人やものの移動」「日常生活と福祉」「生活用品の生産」など、あなたの身の周りの幅広い領域で、社会課題の解決に貢献しています。

油圧機器

インフラの整備に欠かせない機器の提供により人々の暮らしを支えます。



パワーショベル用走行ユニット

鉄道車両用機器

鉄道輸送システムの安全、定時運行に貢献しています。



鉄道車両用ブレーキ制御装置

商用車用機器

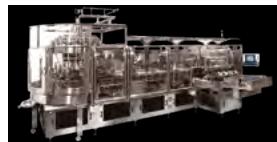
電動化対応を進め、環境負荷を低減します。



電動エア
コンプレッサー

包装機

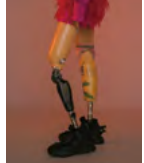
食品ロスの削減や限りある資源の活用にご貢献しています。



超高速自動充填包装機

福祉機器

すべての人がともに生き生きと参加できる、「ノーマライゼーション」の実現に貢献します。



電子制御義足膝継手
「ALLUX™2」

航空機器



航空機の安全運航に貢献しています。

フライト・コントロール・
アクチュエーション・システム

船用機器

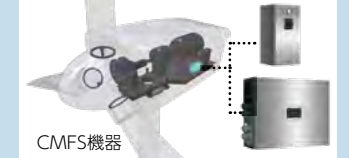
船舶の安全運航、海上輸送の省燃費化にご貢献しています。



電子制御油圧バルブ

風力発電機用CMFS*機器

風力発電機の故障回避や長寿命化にご貢献します。



CMFS機器

精密減速機

産業用ロボットの進化を通して、ものづくりの自動化にご貢献しています。



精密減速機RV™-Z

自動ドア・ホームドア

生活空間へのさらなる安全・安心・快適の提供を通じ、ESG課題の解決にご貢献します。



建物用自動ドア

*故障回避機能付き状態監視機器

コンポーネント
ソリューション事業 (CMP)

ものづくり
まちづくり

- 精密減速機
- 油圧機器

トランスポート
ソリューション事業 (TRS)

人や
ものの移動

- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 商用車用機器
- 船用機器

アクセシビリティ
ソリューション事業 (ACB)

日常生活と
福祉

- 建物用自動ドア・
ホームドア
- 福祉機器

マニュファクチャリング
ソリューション事業 (MFR)

生活用品の
生産

- 包装機

数字で見るナブテスコ

国内外での高いシェアが、ナブテスコの収益基盤となっています。

ナブテスコは統合前の2社による高い技術力を受け継ぎ、2003年の設立以来、成長を続けてきました。
このページでは、現在のナブテスコの主な指標と事業セグメントの主な製品シェアをご紹介します。

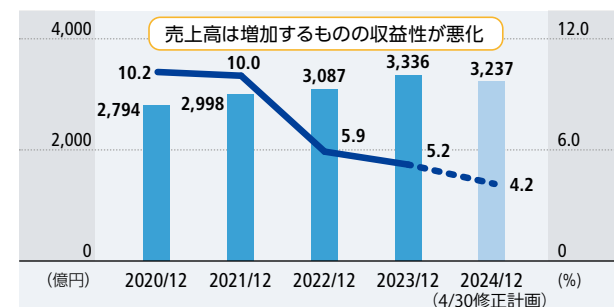


ESGデータ集

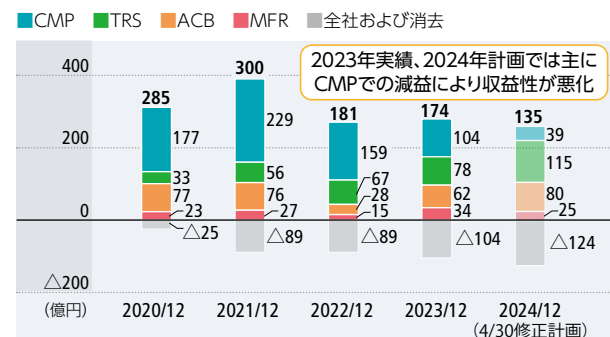
<https://www.nabtesco.com/about/sustainability/s-025/>

財務資本

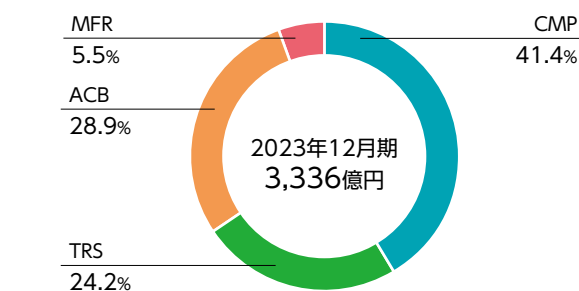
● 売上高／営業利益率



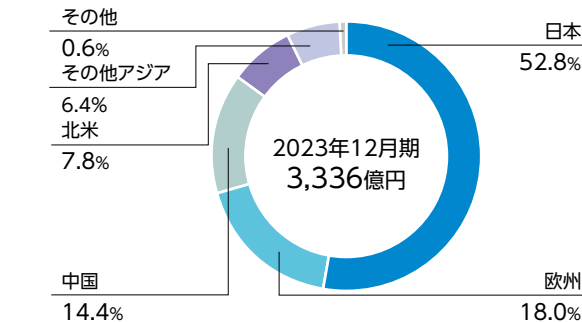
● 営業利益(事業セグメント別)



● 売上高(事業セグメント別)

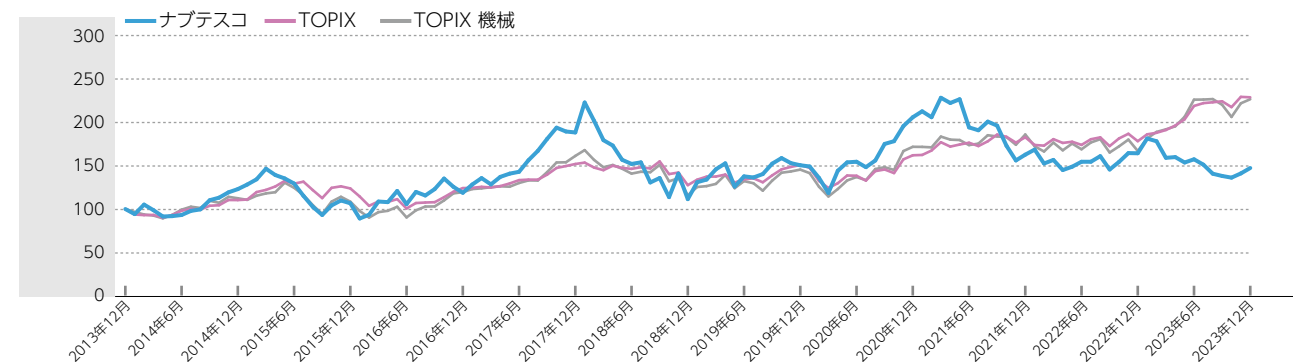


● 売上高(地域別)



関係資本

● 過去10年間のTSR(Total Shareholder Return)



● 2023年12月末時点の投資収益率

	過去1年		過去3年		過去5年		過去10年	
	年率	累積	年率	累積	年率	累積	年率	累積
ナブテスコ株	-12.1%	-31.1%	-11.7%	36.1%	6.4%	63.8%	5.1%	
TOPIX	28.3%	41.1%	12.1%	78.9%	12.3%	127.8%	8.6%	
TOPIX 機械	35.6%	31.8%	9.6%	95.0%	14.3%	125.6%	8.5%	

(注1) TSR:株主総利回り。キャピタルゲインと配当を合わせた、株主にとっての総合投資利回りを表します。

(注2) 上記グラフは、2013年12月末に投資をした場合の2023年12月末時点での投資収益率を示しています。

ナブテスコ株のデータは、株価に配当を加えた投資成果(配当を再投資しない前提)について、2013年12月末の投資額を100として指数化しています。

東証株価指数(TOPIX)と東証の業種別株価指数(TOPIX 機械)のいずれも配当込みのデータを使用し、同様に指数化しています。

(注3) 上記の表は、2023年12月末時点での投資収益率(配当込み)について、1年前(2022年12月末)から10年前(2013年12月末)までの各時点で投資した場合の累積リターンおよび年率リターンを表しています。

(注4) 年率リターンの数値は、1年平均の収益率を示しており、当該期間の投資収益率を幾何平均によって年換算しています。

(出所) 東証の月次株価終値データ等により、当社作成

関係資本

事業セグメント	主な製品	主な製品シェア	注:シェアは当社推計
コンポーネントソリューション事業(CMP)	精密減速機 中大型産業用ロボットの関節用途	No.1 世界シェア 約60%	
	油圧機器 油圧ショベル用走行ユニット	世界シェア 約25%	
トランスポートソリューション事業(TRS)	鉄道車両用機器 鉄道車両用ブレーキシステム	No.1 国内シェア 約50%	
	鉄道車両用ドア開閉装置	No.1 国内シェア 約60%	
	航空機器 フライト・コントロール・アクチュエーション・システム(FCA)	No.1 FCAの国産機シェア 約100%	
	商用車用機器 商用車用ウェッジチャンバー	No.1 国内シェア 約75%	
	船用機器 船用エンジン遠隔制御システム	No.1 国内シェア 約50% (世界シェア約40%)	
	アクセシビリティソリューション事業(ACB)	No.1 建物用自動ドア 国内シェア 約55%	
	マニファクチャリングソリューション事業(MFR)	No.1 包装機 レトルト食品用充填包装機	国内シェア 約85%